

滋賀県医師会 糖尿病実態調査への ご協力をお願い

当医療機関は、一般社団法人 滋賀県医師会が実施する「滋賀県医師会糖尿病実態調査」に参加しており、糖尿病で受診されている皆さまの診療情報を報告しています。報告の際は、診療情報を匿名化し、個人情報の保護に努めています。

これらのデータは、今後の糖尿病診療の向上を目的として、調査や研究のために活用されていますので、今後も調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

※滋賀県医師会では、上記利用以外の目的で個人情報を利用したり、第三者に提供することはありません。同意されない場合は下記会員までお申し出ください。

その際に診療上の不利益になることはございません。

※本調査は、滋賀県医師会主導の多施設共同研究として社会医療法人誠光会 淡海医療センターの倫理審査委員会で承認されています（2024-010）。

当施設は、一般社団法人 滋賀県医師会（以下、滋賀県医師会）が6年に1度実施する「滋賀県医師会糖尿病実態調査」に参加しており、糖尿病で当院を受診されている皆様の診療データを匿名化し報告しています。この報告データは、今後の糖尿病診療の向上を目的として、調査や研究のために活用されています。

報告されたデータは、外部に漏れたり、悪用されたりしないよう厳重に管理されており、調査や研究に利用する際には、事前に個人情報を削除した上で収集・解析されています。

滋賀県は人口構成、経済活動など社会一般の各指標が全国の1%県とされていることより、滋賀県医師会は平均的な糖尿病の現状を把握するために有意義であると考え、「滋賀県医師会糖尿病実態調査」を2000年に始めました。2018年にはデータ報告件数が約26,000件を超える滋賀県の糖尿病臨床に関する資料になっています。

滋賀県医師会は、糖尿病治療の実態把握と改善を目的として県内多施設からの報告データを様々な角度から集計・解析を行い、その結果を「滋賀県医師会糖尿病実態調査報告書」として発表しています。

調査結果は滋賀県医師会員だけでなく、日本内科学会等の各種学会ならびに講演会等で報告を行っており、今後は海外での学会発表や医学専門誌への投稿も予定しています。

これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、今後も情報の安全管理と保護に万全を期しますので、引き続き調査へのご理解、ご協力をお願いいたします。

2024年10月

一般社団法人 滋賀県医師会 会長 高橋 健太郎

医療機関名

滋賀県立総合病院

会員名

山本 泰三

校了